

JCP OGAKI はんざわ REPORT



石川県立中央病院の視察に行ってきました。

去る11月14～15日、市民病院に関する委員会の視察で、福井県立病院と、石川県立中央病院に行ってきました。「患者の立場になった新病院の建設」をめざし、平成30年1月に430億円を投じて開院した石川県立中央病院では、診療のロスにつながる動線の改善や、女性の気持ちによりそった「女性専用外来エリア」を設けるなどの工夫がほどこされていました。また、産科医師と小児科医師が連携して質の高い医療を提供できるような設計がされていました。

また、中央玄関の患者がいちばん入りやすい位置に**患者総合支援センター**が設置され、相談室が個室で16室も設けられていることに驚きでした。相談室の隣室には、看護師や薬剤師、栄養士や医療事務、医療ソーシャルワーカーなどが相

(石川県立中央病院の患者総合支援センター) 談業務のためにスタンバイしており、一度に入院のための必要な説明や相談支援ができるようになっていました。ここは、病院勤務ではない地域の介護事業所や病院の方々も予約をして利用することもあるということで、市民に開かれた病院として工夫されている姿に感心しました。

大垣市民病院でも、今年の10月から、今までの1階にあった「よろず相談・地域連携課」にプラスして、「入(退)院支援」のためのセンター(病院2階)が設置されました。入院してからではなく、入院が決まった段階から、入院とその後のための支援をスタートするため、医療的なケアの充実はもちろん、医療費の支払いや虐待等の問題も含めて迅速に対応できるような体制です。現在の大垣市民病院では、スペースが限られることがあり、相談室の確保が大きな課題であると感じました。こうした視察活動を議会に生かしてまいります。

市民アンケート結果「交通政策への強い関心」

大垣市地域公共交通会議(2回目)が、11月29日(金)に行われました。この会議では、夏に行われた5400世帯を対象としたアンケート結果等にもとに、基本計画骨子が発表されました。いよいよ、1月下旬から、上石津と墨俣を含める合計6か所で「地域懇談会」が行われる予定です。日程詳細は、「公報おおがき」でお知らせがあります。市民参加で、よりよい交通政策を実現させていきたいものです。

大垣市地域公共交通会議を傍聴してみて、アンケート結果の中で印象的だった点を、報告します。まず、路線バスの費用



負担への意識調査では、「現状維持」と「さらなる充実」をあわせると、なんと、64%にのぼりました。バス政策への市民の関心の高さが示されました。会場で議論になっていた「不安を感じさせないバス政策を」という話に同感です。今の、バス路線では、行きたい場所に乗り継げば行けるのか、乗り継ぎ時間のロスはどのくらいあるのか、乗り継ぎバス停がどこにあるのか、運賃がいくらになるのか、非常に分かりにくいと思います。そうした改善も必要になると思います。



また、大垣市の路線バスは、どこに行くにも大垣駅を中心に設計されており、今回のアンケート結果では、そうした現状のバス路線を想定して回答されているとも思われます。こうした点も分析には、考慮が必要です。

実は、先日の石川県立中央病院の視察の際に空いた時間を利用して金沢市内の散策に「巡回バス」を利用してみました。非常に便利だと思いました。町の情報が書かれた地図に、巡回バスの経路が示されていて、乗り継ぎポイントなども明確です。走る時間帯は、日中が中心。時刻表も見やすいです。料金は100円でわかりやすい。バスも比較的小型なもので路地もスイスイ走



(停留所、ルートが分かりやすい)り、そこにバス停があります。ご高齢の乗車のかたが多く、受診や用事など、生活に使われていました。

こうした巡回バス方式(日中の生活中心)を、路線バス(朝夕の通勤通学中心)と組み合わせる実施しているのは、岐阜市や池田町などもあります。

どこでも、巡回バスは、一周50分程度の巡回になっているようです。大垣市でも、巡回バスを走らせ、鉄道や巡回バスどうしの乗り継ぎポイントなども作ってみてはどうでしょうか。まずは、実証実験という方法もあるでしょう。

(誰もが手に入れやすい路線図)

はんざわ多美の12月議会での一般質問項目について

- ①男女共同参画社会に向けて
- ②地域公共交通について
- ③大垣市医療費助成制度(垣老)の存続について

訂正とお詫び

11月号の市政報告で「しんぶん赤旗」の日曜版価格が823円となっております。正しくは930円です。

また、視察報告の『普通の市民』の意見を十分に取入れた計画にしようとする八王子市の心意気が伝わってきました。」の中で八王子市は三鷹市の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2019年12月1日(第51号)
連絡先：大垣市室本町5-8
TEL (0584) 78-6865
FAX (0584) 73-8572

はんざわ多美
教育福祉委員
市民病院に関する委員
E-mail hancyan_tamicyan@yahoo.co.jp
URL <https://hanzawatami.net>



JCP OGAKI としや REPORT

2019年12月議会が始まります！

主な議案紹介

(補正予算関係)

- ・アーチェリー場(用地取得) 1億4580万
- ・野外活動センター(用地取得、測量) 2億7780万
- ・福田公園整備事業費(用地取得) 3億960万
- ・認定子ども園 240万円 (幼保無償化に伴う需要増)

(条例関係)

- ・下水道使用料等の改定(平均6%アップ)

(財産取得)

- ・競輪場にて電源を供給している電源装置を更新(4070万円)

(指定管理者)

- ・新たに指定管理者制度を導入する公設地方卸売市場について、指定管理者を指定(大垣水産青果株)

(一般質問項目) 中田としや ① 補聴器購入助成について、② 保育園無償化の影響について

12月議会の主な日程(2019年12月2日~16日)

12月9日 10:00 本会議(一般質問)

中田としや、はんだわ多美

大垣ケーブルテレビ放映予定

12/14(土) 8:00~

12/16(月) 17:00~

12/20(金) 15:00~

加齢性難聴者の補聴器に自治体の支援を

加齢によって難聴となり生活に支障をきたしているが、規定(70デシベル)以上の聴力があるため身体障害者とは認定されない中度・軽度の加齢性難聴者への支援が、認知症予防との関係でも注目され、補聴器購入助成などにとりくむ自治体が広がっています。

中田としやは大垣市でも提案していきます。

●購入費用を助成・補助している自治体

北海道赤井川村、岩手県大船渡市、茨城県古河市、長野県木曾町、埼玉県朝霞市、千葉県浦安市、船橋市、東京都大田区、中央区、葛飾区、江戸川区、千代田区、墨田区、豊島区、静岡県長泉町、愛知県北名古屋市、福岡県田川市、粕屋町

●補聴器を現物支給している自治体

北海道北見市、福島県二本松市、栃木県足利市、宇都宮市、東京都江東区、新宿区

※制度の詳細は各自治体ホームページ等をご覧ください。これ以外の実施自治体の情報をぜひお寄せください。

●厚生労働省の「介護予防マニュアル」でも・・・

厚生労働省の「介護予防マニュアル改訂版 平成24年3月」は、「社会活動が不活発であることが認



知症の発症リスクを上げる」、「閉じこもりは認知症の発症のリスクとなっている可能性がある」とした上で、閉じこもりの身体的要因の1つに「聴力の低下」をあげています。

● 調整と訓練が大事

補聴器は、高価なものがある一方、「雑音がうるさい」「役に立たない」と使われなくなることが多く、所有している補聴器に満足している人は2割程度。専門医は、補聴器を快適に利用するには、3か月程度の調整と脳のリハビリが必要だとしています。

読書の秋（もうすぐ冬ですが・・・）

「みんなの学校」から社会を変える：

障害のある子を排除しない教育への道（小学館新書）

木村 泰子（著）、高山 恵子（著）

保育園の保護者会で映画「みんなの学校」上映会を企画することになった。映画は予告を見、感想を検索し、監督のインタビューを探し等事前に情報を集め期待値を高めるのが中田流映画鑑賞法である。

さっそく“奇跡の学校”「みんなの学校」元校長の本を開く。

「教員の仕事は、子どもに向き合うこと。親対応は管理職の仕事」「親対応なんて、いらんことすな」「(地域の方の関わり方が子どもによくない時) 教員が明確に『邪魔やで』といえないとあかんで」「(地域の方に) 学校は見せ物ちやう。中に入って、困っている子と一緒に学ぶねん、あんた自身が」

みんなの学校は、地域に開かれた学校。みんなの居場所がある学校。それを成立させるべく、地域と教員と声を掛け合う様子が紹介される。言葉はきついが、関西弁が、またそれを言っても大丈夫という関係がそれを和らげる。ええ学校やな、ほんまに。(中田としや)



一緒に本会議（一般質問）を傍聴に行きませんか？12月9日（月）

私は信じられないほどの方向音痴の人で、毎回傍聴席の入り口がある4階に行っても、スムーズにたどり着いたためしがない。知人が分からなかったから帰ってしまったと後日聞いたことがあるので、私だけではない。確かに案内板もないので、初めての人は迷ってしまうのではと心配になる。中田市議に伝えたから、きっと12月は改善されているはず。エレベーターや階段（2か所ある）で上がった時、しっかり目に入る大きな案内板がありますように！直接市庁舎の4階へ。傍聴席は75席（車いす席4席）。

本会議では私たちの代表として中田市議・はんざわ市議が市長や各部署の責任者に意見・要望をぶつけます。随分市民の声を集めて勉強しているなあ～と感心します。特に自分の要望と重なった時は、聞くのも気合いが入ります（子どもの居場所である児童館建設や子育て応援課題とか）。2人の質問だけでなく、他の議員の質問もそれぞれ勉強になります（質問順は抽選）。議会を2階から見下ろす形ですから、市長も各部署の責任者も傍聴者の数や反応はとても気になるみたいです。議員さんも後ろ向いて「今日は多いなあ～」っと、気にする様子。今年ラストの本会議に多くの傍聴を！（こばやし・けいこ）

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2019年12月1日（第51号）
連絡先：大垣市室本町5-8
TEL (0584) 78-6865
FAX (0584) 73-8572

中田としや
建設産業委員
大垣市議会日本共産党会派幹事長
E-mail nakatatoshiya015@gmail.com
URL <http://nakata-toshiya.com>

